

次期愛知県産業労働計画（仮称）の策定について

- 現行の「あいち産業労働ビジョン 2016-2020」が今年度で計画期間を終えること、県の総合計画である「次期あいちビジョン」が本年 11 月頃に策定されることから、**新たな産業労働計画を 2020 年内に策定**（計画期間：2021～2025 年度の 5 年間）。
- 策定作業は 2019 年度から着手。策定委員会（有識者や関係団体等が参画）のほか、6 県事務所単位での地域会議（市町村や商工会議所・商工会や労働団体等が参画）、中小企業経営者との車座集会など、各方面の意見を伺いながら、**昨年度末に骨子を取りまとめ**。
- 新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、**検討の視点や施策体系の第一に新型コロナの感染拡大と「新しい生活様式」への対応を位置付けるなど、内容の見直し**を行うとともに、**引き続き、スタートアップ支援や次世代産業の振興により、イノベーションの創出を前面に打ち出す方向性を重視した内容とする**。

<検討体制>

- 1 計画策定委員会（下部組織として産業部会・労働部会を設置）
委員長：山田基成名古屋大学名誉教授 産業部会長：内田俊宏中京大学客員教授 労働部会長：林陽子岡崎女子大学・岡崎女子短期大学学長
- 2 地域産業労働会議
6 県民事務所単位で開催（市町村、商工会議所・商工会、連合愛知の地域協議会、公共職業安定所などが参画）
尾張：8 月 28 日（金） 海部：7 月 27 日（月） 知多：8 月 25 日（火） 西三河：8 月 20 日（木） 東三河：9 月 4 日（金） 新城設楽：8 月 24 日（月）
- 3 中小企業経営者との車座集会・地域金融機関との勉強会
中小企業経営者及び地方銀行・信用金庫等との意見交換を実施

